



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	30,199.87	70.04	0.23	0.07	5.82	28,538.44
NASDAQ	12,804.73	33.62	0.26	0.38	42.71	8,972.60
日経225	26,656.61	-11.74	-0.04	-0.40	12.68	23,656.62
上海総合	3,396.56	33.45	0.99	0.05	11.36	3,050.12
滬深300 (CSI300)	5,042.01	42.00	0.84	0.84	23.08	4,096.58
ハンセン	26,386.56	43.46	0.16	-0.42	-6.40	28,189.75
中国企業	10,430.53	-51.99	-0.50	-0.50	-6.60	11,168.06

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.4%安と4週続落、上海総合指数は0.05%高

香港市場はクリスマスのため3日半の取引。ハンセン指数は週間で0.4%安と4週続落した。連休を前に持ち高調整の売り圧力が強まる中、新型コロナを巡り、景気悪化への懸念とワクチン普及への期待が交錯した。中国当局が独占禁止法違反の疑いでアリババ集団の調査を開始したと伝わり、アリババ集団などネット関連銘柄の下落が相場の重しとなった。本土市場では上海総合指数が週間で0.05%高と小幅ながら続伸。米トランプ政権が任期切れを前に対中制裁を連発していることが嫌気された一方、政策期待が相場を支えた。

今週の展望:香港市場は弱含みの展開か、コロナ変異種やネット規制に警戒感

香港市場は31日が半日立ち会い、1月1日が休場のため3日半の取引。世界で新型コロナの感染拡大が続いているほか、コロナ変異種への警戒感が相場の重しとなりそうだ。中国政府による政策期待や新型コロナワクチンの普及への期待が相場の支えになる可能性はあるが、中国政府による規制強化を受けてアリババ集団やテンセントなど巨大ネット企業には売り圧力が強まる公算が大きい。本土市場は4日間の取引。中国政府による政策期待と米国による対中制裁で綱引き相場となり、一進一退の展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 小米集団 (01810)	32.45	12.67
2 安踏体育用品 (02020)	115.70	10.09
3 申洲国際集団 (02313)	149.70	5.87
4 香港証券取引所 (00388)	413.00	4.82
5 薬明生物技術 (02269)	91.45	4.57
6 舜宇光学科技 (02382)	162.40	4.50
7 中国蒙牛乳業 (02319)	44.80	3.70
8 瑞声科技 (02018)	43.90	2.57
9 AIAグループ (01299)	90.90	1.56
10 吉利汽車 (00175)	23.35	1.30

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 アリババ集団 (09988)	228.20	-10.72
2 中国生物製薬 (01177)	7.46	-4.48
3 テンセント (00700)	556.00	-4.14
4 九龍倉置業地産 (01997)	38.90	-3.47
5 中国海外発展 (00688)	17.30	-3.35
6 新世界発展 (00017)	36.20	-3.21
7 中国中信 (00267)	5.35	-3.08
8 石薬集団 (01093)	7.60	-3.06
9 万洲国際 (00288)	6.36	-2.90
10 恒安国際集団 (01044)	53.90	-2.88

▼今週の期待材料

- ◆中国の11月の工業企業利益は前年同月比15.5%増、伸び率は前月から減速も2桁増を維持
- ◆来年の全人代開催日が3月5日に決定、中国政府による政策への期待が高まる可能性も
- ◆31日に中国国家统计局が12月の製造業PMIを発表、景気回復を裏付ける強い結果なら相場の支援材料に

▼今週の懸念材料

- ◆中国当局がアリババ集団傘下のアントに業務改善命令、巨大ネット企業による独占禁止など規制強化へ
- ◆世界で新型コロナの感染拡大続く、感染力の強い変異種による感染拡大も相場の重しに
- ◆米商務省が中ロ企業103社を制裁リストに指定、米トランプ政権が駆け込みで対中制裁を連発

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ PCCW (00008) : マレーシアの不動産を約1億3400万HKドルで売却
- ☆ 天能動力国際 (00819) : 20年12月本決算は利益率改善で40%超増益の見通し
- ☆ 越秀交通基建 (01052) : 主要高速道路の11月通行料収入が3%増加
- ☆ 中国神華能源 (01088) : 陝西省の火力発電一体化プロジェクトが商業運転に移行
- ☆ 瑞声科技 (02018) : 光学関連子会社の分離上場計画を発表、中国本土上場へ
- ☆ 株洲中車時代電気 (03898) : 20年1-9月期決算は0.4%減益、7-9月期は85%増益
- ☆ JDドットコム (09618) : 生鮮品流通サービスの中国地利と資本提携、5.4%出資
- ★ SMIC (00981) : 軍関連企業指定で逆風、複数のグローバル指数から除外
- ★ TCLエレクトロニクス (01070) : 米当局が調査開始か、CFOは23日付で辞任
- ★ アリババ集団 (09988) : 中国当局が傘下のアント・グループに業務改善を命令

▼今週の主なイベント

- 12月31日(木)
- 【香港】大みそかで半日立ち会い
- 【中国】製造業PMI(12月)
- 1月1日(金)
- 【香港】正月で休場
- 【中国】正月で休場

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。